おいしい水に関する水質の状況について



水質センター

1

はじめに

水質センターでは、平成18年度に設定された「おいしい水」に関する水質目標に関し達成状況を把握するとともに、今後目標設定すべき項目とされているトリクロラミンについても調査を進めて参りました。

本日はこれまでの調査結果と今後の方向性について報告します。

2

おいしい水づくり計画の水質目標と H19年度達成状況(速報値)

			H2 7 年度	H22年度	H19年度
			目標値	中期目標値	達成状況(速報値)
におい及び味	残留塩素		0.4mg/L以下	0.6mg/L以下	0.8mg/L
			0.1mg/L以上	0.1mg/L以上	
	臭気強度(TON)		1	100%	100%
	かび 臭	2-MIB	定量下限值 (1ng/L)以下	95%	92%
		ジェオスミン		100%	100%
	有機物(TOC)		1.0mg/L以下	95%	92%
外観	色度		1度以下	100%	100%
	濁度		0.1度以下	100%	100%
安心	総トリハロメタン		0.03mg/L以下	95%	70%
					3

トリクロラミンに関する調査

千葉県水道局の浄水場は

高度浄水処理施設と通常処理施設(粉末活性炭対応)があり、地域によりブレンドしながら給水しています。

カルキ臭、トリクロラミンの状況は、浄水処理によっても違いが見られることから浄水場における調査を行いました。

4

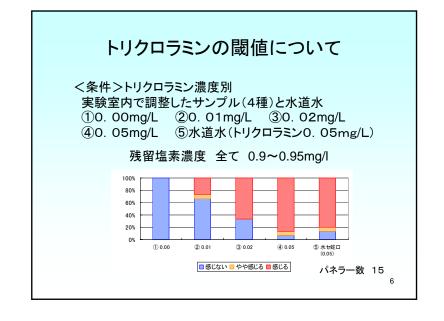
浄水処理別トリクロラミン濃度測定結果(平均値)

	トリクロラミン濃度
①高度浄水処理単独系	0. 02mg/L
②高度浄水処理ブレンド系	0. 03mg/L
③通常処理系	0. 04mg/L

【調査期間 平成19年6月~平成20年3月】

- ◇集計上の浄水処理の区分◇
 - ①・・・ちば野菊の里、柏井東塩素混和池 福増浄水場中間ポンプ井
 - ②···栗山、柏井東浄水、福増配水池
 - ③…柏井西、北総

7

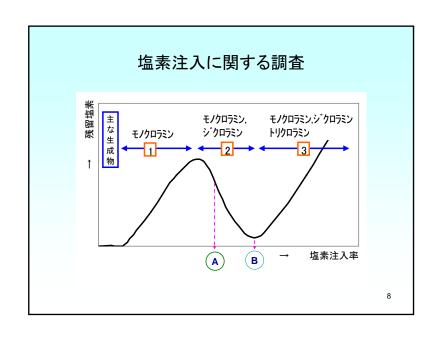


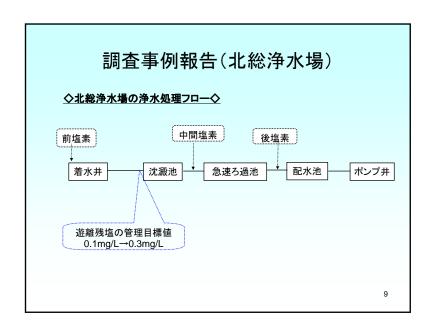
浄水場におけるトリクロラミン低減方法の検討

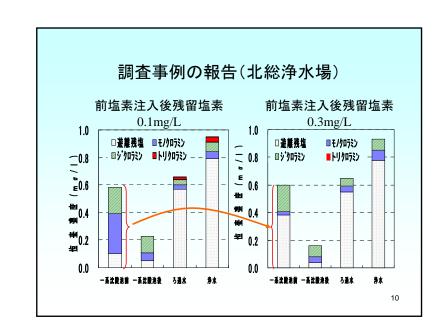
通常処理浄水場での弱前塩素処理 主な目的:トリハロメタンの低減

前塩素注入率の調整がトリクロラミン低減に効果

塩素注入に関する調査







今後の予定等

- ○浄水場におけるカルキ臭低減方法の調査 塩素注入変更によるトリクロラミン低減効果と消毒副 生成物等の状況を把握し年間の浄水処理全体を評価
- 〇浄水場と給水栓におけるカルキ臭調査 給水に際してブレンドされるため傾向を確認
- 〇トリクロラミン濃度とカルキ臭の関係等 カルキ臭の指標に関する調査



